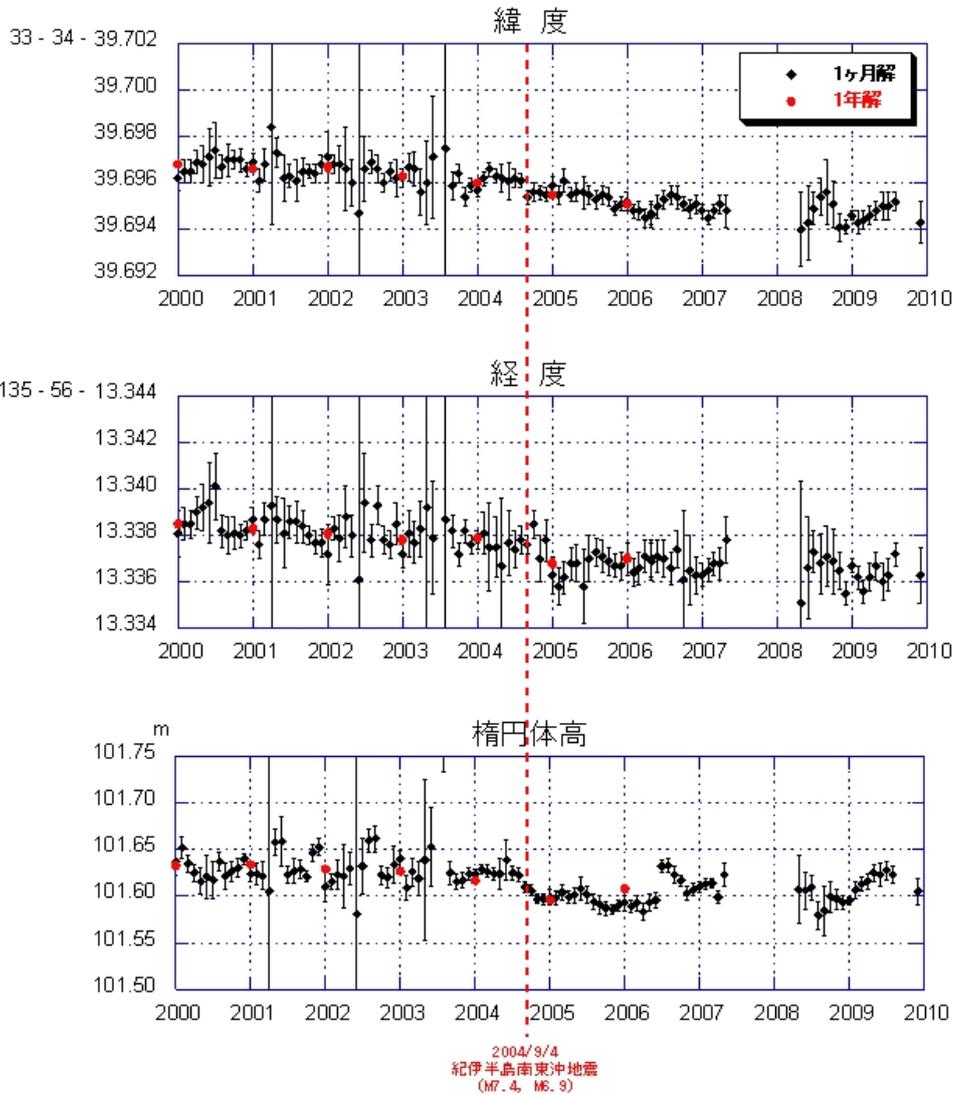


- ( 1 ) 実施機関名：  
海上保安庁
- ( 2 ) 研究課題（または観測項目）名：  
海洋測地の推進
- ( 3 ) 最も関連の深い建議の項目：  
2. 地震・火山現象解明のための観測研究の推進  
( 1 ) 日本列島及び周辺域の長期・広域の地震・火山現象  
ア．列島及び周辺域のプレート運動，広域応力場
- ( 4 ) その他関連する建議の項目：  
4. 計画推進のための体制の強化  
( 5 ) 国際共同研究・国際協力の推進
- ( 5 ) 本課題の 5 か年の到達目標：  
S L R の国際共同観測を継続し、日本周辺のプレート収束速度決定の精度向上に努める。
- ( 6 ) 本課題の 5 か年計画の概要：  
S L R の国際共同観測を継続し、日本周辺のプレート収束速度決定の精度向上に努める。
- ( 7 ) 平成 21 年度成果の概要：  
下里水路観測所（和歌山県那智勝浦町）の S L R 観測で監視している本土基準点は、海上保安庁で実施している海底地殻変動観測、地殻変動監視観測の基準点として、プレート運動の高精度検出を行っている。平成 20 年度～平成 21 年度にかけて老朽化していた S L R 装置の更新を行い、平成 21 年 11 月末から新 S L R 装置による運用を開始した。取得した S L R 観測データを国際レーザー測距事業（ILRS）の枠組みの中で国際データセンターに提供し、世界測地系の維持にも寄与している。
- ( 8 ) 平成 21 年度の成果に関連の深いもので、平成 21 年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：  
鈴木充広、成田誉孝、緒方克司、山田圭祐：下里水路観測所の人工衛星レーザー測距装置の現況と諸元（海洋情報部研究報告第 46 号）
- ( 9 ) 平成 22 年度実施計画の概要：  
S L R の国際共同観測を継続し、日本周辺のプレート収束速度決定の精度向上に努める。
- ( 10 ) 実施機関の参加者氏名または部署等名：  
海上保安庁海洋情報部海洋調査課航法測地室  
他機関との共同研究の有無：無
- ( 11 ) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先  
部署等名：海上保安庁海洋情報部海洋調査課航法測地室  
電話：03-3541-4232  
e-mail：下記 U R L の問い合わせフォームから問い合わせください。



( ※2007年6月～2008年4月は、観測装置の故障のためデータが取得されていない  
 ※2008年9月～11月は、観測装置の更新のため、データが取得されていない  
 ※2008年5月以降は、試験運用中でデータ数が少ないため、座標値にばらつきが見られる。 )

S L R 観測により求められた下里の座標変化 ( 2000 ~ 2010 )